

兵庫県保険医協会北阪神支部 在宅医療研究会

参加費無料

認知症に関する最近の話題

～レビー小体型認知症、てんかん、認知症予防～

○日 時 **9 月 15 日 (土)** 16 時～18 時

○会 場 **JEC 日本研修センター伊丹 大会議室**
(下地図参照 〒664-0851 伊丹市中央 3-1-17 SR ビル伊丹 6 階)

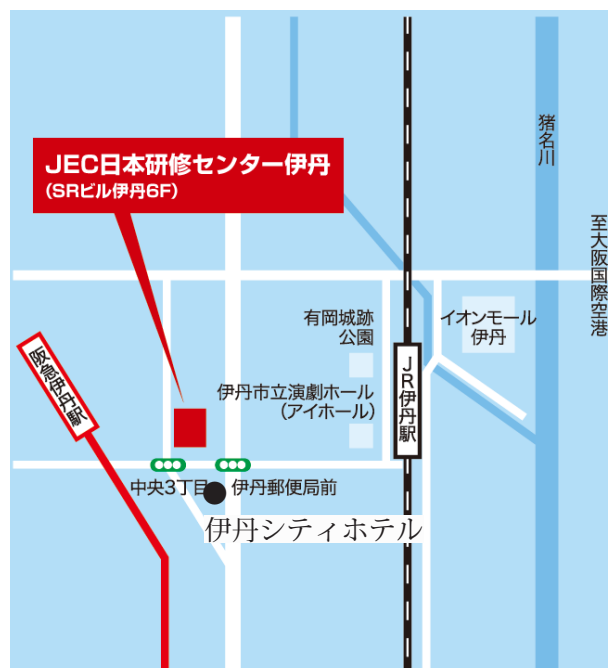
○講 師 西宮市・つちやま内科クリニック 院長
土山 雅人 先生

今回は認知症に関する最近の話題として、①レビー小体型認知症 (DLB)、②てんかん、③認知症予防を取り上げます。

①は DLB 特有の視覚性認知機能障害や幻覚、誤認、妄想などの精神症状などについて、②は高齢発症のてんかんの特徴、認知症とてんかんの関連などについて、③は最近の認知症予防の考え方を解説します。

いろいろな職種の方々に興味を持っていただけのような内容にしたいと思います。在宅療養を支えるために我々ができること、すべきことを共に考える機会になれば幸いです。皆様のご出席をお待ちしています。(土山記)

※お問い合わせは、北阪神支部担当事務局
(Tel 078-393-1805) 有本・小川まで



※阪急伊丹駅より徒歩 4 分・JR 伊丹駅より徒歩 7 分。近隣の有料駐車場をご利用ください。

----- (切り取らずにご送信ください) -----

【お申し込み】 FAX: 078-393-1802

在宅医療研究会 (9/15) に () 人参加します。

地区 () 医療機関名 ()

氏名 () 職種 ()

電話番号 () FAX 番号 ()

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2018 年 8 月 25 日号 No.285

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

医療安全管理対策研修会 感想文

クレームは改善のきっかけ

院内で共有したい

伊丹恒生脳神経外科病院 看護師 松本亜希代

神崎氏がクレーム再発防止策の院内での共有を呼びかけた



支部は 7 月 28 日に伊丹市内で医療安全管理対策研修会を行い、会員、職員ら 38 人が参加した。近畿中央病院の医療安全管理者の神崎英子氏が「外来における医療安全管理」、感染管理認定看護師の上野一枝氏が「外来で必要な感染対策」をテーマに講演した。参加者の感想文を紹介する。

私は、外来勤務で感染委員会に所属しているため、今回の研修会はとても興味を持って参加させていただきました。

最初のクレーム対応についてのお話はとても参考になりました。外来では時間外対応の電話や診療時の待ち時間などのクレームを受けることがあります。入職した頃はクレームがあると萎縮してしまい、話の内容を整理する余裕もなく謝罪してしまうことが多かったのです。今では外来勤務も 9 年目になり、クレーム時には冷静沈着に対応することを心がけ、相手のお話をお聞きした上で自分の意見を述べ対応をしていくようにしていますが、自分の判断だけでは難しく困ってしまうことがあります。

ですから、今回の研修会の内容は役に立ちました。「クレームは改善のきっかけ」というお話はその通りだと思いました。改善策を考え、院内で統一を図ることが必要だと思いました。

(次のページに続く)



個人防護具着脱の注意点を上野氏が解説

(前のページから)

クレーム対応は、相手に共感し謝罪すること、「優しく」と「易しく」の 2 つのやさしさを意識すること、毅然とした対応をすること、なども勉強になりました。

感染の研修は、感染委員会で日頃勉強していることの復習もでき、標準予防策として防護具の着用や手指衛生、針刺し事故などについて再確認できました。実技や動画を交えての講義で、興味深く楽しく学ぶことができて理解も深まりました。

今回の研修会で学ばせていただいたことを外来での勉強会で報告し、今後に活かしていきたいと考えています。



写真や動画を使い、感染対策の重要性を解説した

参加者の声

(医療安全管理)

- ・クレーム対応の例が大変参考になった。謝罪、原因の究明、相手の要求や丁寧な対応、相手に対して躊躇せず逃げない、などたくさんの問題にスピード感を持って対応していかなければいけない。
- ・自分ができていること、できていないことが明確で、すぐに職場に取り入れることができる内容でした。特に、クレームに対してその場で耐えてやりすごすのではなく、患者さんが何を言い伝えたかったのかを考え、改善することが大切だと理解しました。
- ・一つひとつが明日からでも使える対応ばかりで大変参考になった。クレームは嫌ですが場数をこなさなければ成長しない(＝改善のきっかけをつかむ)ということがよくわかった。今まで逃げ腰でしたが積極的に関わっていける勇気もらった。

(感染対策)

- ・感染予防にはもっと気をつけて手洗いなどして自分の身を守っていかなければと思った。
- ・マスク、手袋、エプロンの外し方などとても勉強になった。
- ・まずは診療室の清掃、手洗いをみんなで頑張りたい。
- ・日常や緊急時に知っておくべきこと(手袋脱着の正しい方法など)や対処法を知ることができた。



参加者全員で個人防護具の着脱の練習



幹事会だより

第 372 回 8 月 2 日 (木) 宝塚商工会議所 参加 5 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

8/2 現在 医科 342 人 (75%)、歯科 192 人 (59%)

◆情勢と医療運動対策

子ども医療費無料化は国の制度として実施すべきなど意見交換した。10 月に行われる川西市長選挙の予定候補者へのアンケートを実施することとした。

◆当面の支部活動

在宅医療研究会「認知症に関する最近の話題

～レビー小体型認知症、てんかん、認知症予防～」

日 時 9 月 15 日 (土) 16 時～ 18 時

会 場 JEC 日本研修センター伊丹会議室

講 師 西宮市・つちやま内科クリニック 土山 雅人 先生

参加費 無料

◆次回幹事会

9 月 6 日 (木) 14 時 30 分～ 伊丹市産業情報センター会議室 B

お問い合わせは ☎ 078-393-1805 有本・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

ホームページでも
ご覧いただけます



＜ 9 月のテーマ ＞

月曜日 RS ウイルス

火曜日 介護報酬改定で何が変わったか

水曜日 むくみのはなし

木曜日 内視鏡による消化器手術

金土日 統合失調症

17 日 (月・祝)・24 日 (月・祝) は金土日のテーマを放送

＜ 10 月のテーマ ＞

月曜日 アレルギー性結膜炎

火曜日 健康寿命と口腔ケア

水曜日 椎間板ヘルニア

木曜日 非結核性好酸菌症

金土日 うおのめとたこ

8 日 (月・祝) は金土日のテーマを放送



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当；有本まで